

ひのものとまなかパトロールの会（青森県）

活動地域

青森県代表の、ひのものとまなかパトロールの会です。私たちは、「自分たちの地域は自分たちで守る」をモットーに活動しております。青森県東部に位置する我が東北町は、人口約1万9,000人、全国有数のナガイモ生産と県下有数の畜産、日本一のシラウオ、ワカサギやシジミ貝に代表される農業と酪農業、水産業の町です。県内では駅伝の町として知られており、県内全市町村が参加する青森県民駅伝では、町の部で昨年2年ぶり17回目の優勝を果たしております。また、東日本で一番黒い湯として有名な東北温泉など数多くの源泉を有し、豊富な湯量を誇る出湯の町、緑の大地と小川原湖に包まれた、雄大で美しい自然が息づく町となっています。



団体の概要

当会の活動区域は町の北部に位置する千曳・清水目・夫雑原・淋代・美須々の5地区26町内会からなり、約510世帯が居住しております。平成8年度に交通防犯指導隊、自動車学校長、交通安全母の会、営林署署員、商店主、民生委員などを会員とする「千曳地区安全づくり協議会」が設立されました。

平成19年3月末で千曳警察官駐在所が廃止されることになりましたが、地域住民の要望で1年間延期され、その間、安全づくり協議会が中心となって平成20年2月、自主防犯組織「ひのものとまなかパトロールの会」が設立され、協議会の活動を引き継ぐこととなりました。同年7月には警察庁地域安全安心ステーション推進事業に認定され、帽子・Tシャツ・ジャンパーなどの貸与を受けました。現在の会員数は30名。会の名称は、千曳地区で発見された文室綿麻呂が刻んだとされる日本中央の碑に由来します。この巨石は昭和24年に発見され、石の中央には日本中央という文字が彫り込まれており、壺の碑とも呼ばれています。

団体概要

七戸警察署千曳駐在所が廃止。

↓
地域住民の要望により廃止が1年間延期に。その間、「千曳地区安全づくり協議会」が中心となって、自主防犯組織設立を計画。

↓
平成20年度警察庁「地域安全安心ステーション」推進事業の認定を受ける。



団体概要

平成20年2月23日

「ひのものとまなかパトロールの会」

設立



征夷將軍文室綿麻呂（フシヤノワタマロ）が刻んだとされる「日本中央（ひのものとまなか）の碑」（東北町有形文化財第1号）に由来。



組織図です。先ほども説明しましたが、千曳・清水目・夫雑原・淋代・美須々の計5地区の住民からなる組織です。設立総会の模様は新聞や町の広報誌で紹介されました。設立総会の案内は、旧千曳駐在所管内の企業・団体等、例えば子ども110番の家・民生委員・消防団・簡易郵便局・老人クラブ・小学校・保育園・PTA・子ども会育成などに出しました。

活動の概要



主な活動について、いくつか紹介させていただきます。

まず危険箇所の巡回及び看板の設置活動を行っています。活動区域内の小学校や駐在所と連携し、夏休み前に管内の溜め池や河川など水難危険箇所の巡回及び点検、視認性が悪いうえ古くなった看板を撤去して新しい看板に替えるなど、注意喚起しています。地元の小学校からは、児童を水難事故に遭わないようにするために重要な活動だと高く評価されています。



次に、高齢者世帯の安全点検・訪問活動もっており、町役場や民生委員・消防団・東北電力・交通指導隊・防犯指導隊と連携の上、高齢者世帯を訪問し、特殊詐欺被害防止などの防犯指導や反射材貼り付けによる交通事故防止指導、漏電等点検、冬期間の雪害事故防止活動を実施しています。

青森県では雪により毎年多くの死傷者が出ており、適切に雪かきを行わないと命にかかわります。当会では高齢者の玄関からの通路が確保されているか、ストーブの排気口が雪に埋もれていないか、屋根雪により家屋が危険な状態でないかなどを点検し、除雪や屋根雪の落下による事故防止を指導しています。これまでに、東北電力職員による漏電点検によって漏電が見つかり、その世帯担当の民生委員が町内会長にお願いし対処していただいたことがありました。訪問した方からは、「クリスマス前の訪問で安心して年を越せます」との喜びの声を頂いております。また、特殊詐欺被害防止などの防犯指導の効果により、県内で振り込め詐欺の被害が増加している中、私どもが把握している過去10年間、千曳地区では被害を一人も出していません。

活動について

青色回転灯防犯車によるパトロール活動



青色回転灯防犯車によるパトロール活動も行っています。子供安全確保対策を主とし、警察官などと連携した、薄暗い時間帯における青色回転灯防犯車を活用したパトロール活動です。また、不審者に対する注意喚起の看板設置や危険箇所のパトロールも実施しています。そのほか、春と秋の安全・安心まちづくり旬間中、車でのパトロール活動を実施しておりますが、地域が広くコース周囲の距離がおおよそ70キロメートルもありますので、約2時間、車載スピーカーで広報しながらパトロールをしています。

活動内容の情報発信及び構成員募集活動については、活動地区の世帯26町内55班約510世帯に対し当会の活動内容などを回覧板にて発信し、活動に対する理解を得るとともに構成員の募集活動を実施しています。

順序不同になりましたが、高齢者世帯等の安全点検の際に、担当の民生委員・警察署・社会福祉協議会や役場などの連絡先を入れたファイルを電話のそばに貼り付けています。その他交通事故などのデータを調べ、地図を作成し役員で場所の確認、会の名称のマグネット表示板を作成し青色回転灯防犯車への貼り付け、会の名称ののぼり旗を作成し5地区への配布、女性と子供を守るための安全講習会への参加、つながり創造住民会議へ出席などを行っております。

活動頻度につきましては、水難など危険箇所巡回を昨年は1回、7月に実施しました。高齢者世帯等の安全点検訪問活動は、例年12月中旬に1回実施していましたが、昨年は豪雪の影響もあり、12月と2月の計2回実施しております。青色回転灯防犯車によるパトロール活動は月8日程度、薄暗い時間帯に実施しております。

活動について

活動内容の情報発信及び構成員募集活動



活動について

- ・ 交通事故等のデータを調べ、地図を作製し、役員で場所の確認
- ・ 会の名称が入ったマグネット表示板を作成し、青色回転灯防犯車へ貼り付け
- ・ 会の名称が入ったのぼり旗を作成し、5地区へ配布
- ・ 女性と子供を守るための安全講習会への参加
- ・ つながり創造住民会議へ出席



活動頻度

- 水難等危険箇所巡回
昨年1回実施（7月）
- 高齢者世帯等の安全点検訪問活動
昨年2回実施（2月、12月）
- 青色回転灯防犯車によるパトロール活動
月8日程度実施（薄暮時間帯）



活動の効果と今後の課題



活動効果としては、活動内容が町の広報誌に掲載されたり、新聞にとり上げられたり、町のケーブルテレビで紹介されるなど、東北町内全域に当会の活動をアピールすることができています。特に、当会の活動の一つである高齢者世帯の安全点検訪問活動においては、町役場や民生委員・消防団・東北電力・交通指導隊・防犯指導隊などと連携し実施しており、実施者及び高齢者双方に防犯の意識の高揚が図られています。



今後の課題としましては、会員数の拡大と活動経費の確保が懸案事項となっております。会員数の拡大につきましては、地域住民の中には、依然として駐在所廃止による警察官不在に不安を抱えている方もいることから、パトロール活動の強化を図るとともに、各地区での防犯・交通安全に関する会合などを開催し、当会の活動を広く浸透させ、特に若い世代、現役世代の会

員を増やすべく、積極的に勧誘活動を行っています。活動経費につきましては、会員から年会費として1,000円を頂いているほか、乙供駐在所連絡協議会経由で役場から年間2万円の補助金を頂き活動経費としているところですが、やはり活動を行う上である程度の予算は必要ですので、活動経費の確保が課題の一つとなっています。また現在、青色回転灯防犯車の運用台数が2台しかないことから、各地区に1台ずつ計5台の運用を図っていきたいと考えております。そのほか、地震などの災害発生時、高齢者世帯の安否確認や救出など対処方法の確立や停電時における連絡方法の確立について、対策を早急にしたいと考えております。

質疑応答

●司会者 青パトの活動に関して、今の2台から5台に増やしたいというお話がありました。青パトのガソリン代は、どのようにしていますか。

○回答 はい、現在のところは、大変申し訳ないですが個人負担ということで頂いております。将来的に会員が増えたり、予算がそれなりに確保できたりすれば、また違った考えで、会の方針を決めていきたいと思っております。

●司会者 今日会場に日本財団さんにお越しいただいております。日本財団では、青パト、福祉車両について、購入に対しての助成をしておられるそうです。その助成の内容につきまして、少しお時間を頂戴して説明していただきたいと思います。

○日本財団 皆さん、こんにちは。ご紹介いただきましたとおり、日本財団では、2007年から青色回転灯の専用車の助成をさせていただいております。個人車も含め、全国で数多くの青パトが走っているわけですが、当財団では全国のモデルとなるような青パトの活動をされている団体さまに対して、これまでに127台の車を助成させていただいております。

当財団の助成の内容は、軽自動車に私どもの指定させていただいております白黒の塗装を施し、青色の回転灯の設置費も含めた総額の80パーセント、上限130万円を出させていただきます。残念ながら東北のほうは、まだ1件もご申請がない状況ですので、ぜひ今回検討していただければと思います。よろしくお願い致します。

当財団のこういった細かい助成の詳細につきましては、「チーム青パト」というブログに全て掲載をさせていただいておりますので、お時間がありましたら見ていただけたらと思います。よろしくお願い致します。ありがとうございました。